

ONE PIECE

2024. 09. 01 No.016

関東大震災
から101年

備える品と心構え

【備えあれば憂い(患い)なし】この言葉は、孔子が書した『書経』などが語源とされている。「患い」とは「わずらい」とも読むことから、健康も同様であると読み取れる。

101年前の今日、日本の首都・東京は地震大国「日本」を世界に発信することとなった。未曾有の災害から復興を成し遂げた先人の情熱に敬意を表するとともに、亡くなられた約10万5,000名もの御霊にご冥福をお祈りいたします。

「身の安全」に備えて、お家の中を確認しよう！

東日本大震災は、死因の9割が津波による溺死でした。また、阪神・淡路大震災は、死因の7割が倒壊による窒息死・圧死でした。関東大震災当時は木造建築が大半であり、発生時刻も正午であったことから出火箇所が多かったことから、死因の9割が火災による焼死でした。

日本各地の街路樹にイチヨウが植えられるのは、イチヨウが水分を多く含む木であるため火災被害を縮小する実例があったからです。(函館大火など)

参考HP
ご紹介！



東京都消防庁「地震に対する10の備え」
東京都消防庁「地震に対する10の備え」

状況を理解して迅速に行動できる訓練を！

参考HP
ご紹介！



国土交通省 気象庁「関東大震災から100年」特設サイト

正常性バイアス(「自分は大丈夫」など)は誰しもある認知特性です。しかし、災害時ではいま起きている状況を鑑みて行動に起こすことが重要です。東日本大震災において、子供が行動し避難を煽動した「釜石の奇跡」や正常性バイアスに囚われて起きた「大川小学校の悲劇」を教訓として、迅速に行動する勇気を養いましょう！

あなたから始まる行動が、周りにいる家族・組合員・同僚を救う先駆けとなります！「自助・共助・公助」で災害は軽減できます！

過去の教訓は、未来に活かすためにある！ 命を守るため現在(いま)から備えよう！